
2022年度 連結業績予想および 中間・期末配当について

2022年9月22日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□2022年度 連結業績予想	．．．	2
□2022年度 連結業績予想の修正概要	．．．	3
□2022年度 中間・期末配当の概要	．．．	4

■ 2022年度 連結業績予想

2022年度通期の連結業績につきまして、小売・他社販売電力量を見積ることが可能となったことから、燃料価格の動向は不透明ではありますが、一定の前提を置いて算定しましたのでお知らせいたします。

(単位：億円，億kWh)

	2022年度 見通し (A)	2021年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	9,700程度	6,634	3,070程度
営業損益	△640程度	249	△890程度
経常損益	△700程度	138	△840程度
親会社株主に帰属する 当期純損益	△710程度	68	△780程度
(対前期増減率) 小売・他社販売電力量	(5.4%程度) 315程度	(12.7%) 299	16程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(7.1%程度) 237程度	(△2.3%) 222	15程度

※小売販売電力量および小売・他社販売電力量は、北海道電力(株)、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	137程度	112	25程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	100.0程度	77.2	22.8程度

※9月以降、為替レートは140円/\$程度、原油CIF価格は95\$/bl程度と想定しております。

■ 2022年度 連結業績予想の概要

<p>小売・他社 販売電力量</p>	<p>当社とご契約いただくお客さまの増加などにより小売販売電力量が増加することなどから、前年度に比べ5.4%程度増加の見通しです。</p>
<p>売上高 (増収)</p>	<p>燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加や小売・他社販売電力量の増加などにより、前年度に比べ3,070億円程度増加の9,700億円程度となる見通しです。</p>
<p>経常損益 (損失)</p>	<p>燃料調達などの経営効率化の深掘りに取り組んでいるものの、燃料価格上昇による燃料費調整制度の期ずれ差損の拡大や、燃料費調整単価の上限超過額の一部を電気料金に反映できない影響に加え、市場価格の上昇による電力調達費用の増加などにより、前年度に比べ840億円程度減少の700億円程度の損失となる見通しです。</p>
<p>親会社株主に 帰属する 当期純損益 (損失)</p>	<p>経常損失の計上などにより、前年度に比べ780億円程度減少の710億円程度の損失となる見通しです。</p>

■ 2022年度 中間・期末配当の概要

2022年度通期の連結業績につきましては、700億円の経常損失を見込んでおります。

こうした状況に加え、発電設備等の点検・補修作業には万全を期しておりますが、万が一の火力発電設備の計画外停止や更なる燃料価格の高騰などによる収支悪化が発現した場合を考慮すると、年度末時点で配当原資を確保できないリスクがあると判断いたしました。

したがいまして、誠に遺憾ながら、本日開催の取締役会において、普通株式および優先株式ともに中間配当を無配とすることを決議いたしました。

また、期末配当につきましては、今後の燃料価格や電力市場価格の動向等を見極めることとし、普通株式および優先株式ともに現時点では未定とさせていただきます。

【2022年度 配当予想（1株当たり配当金）】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2021年度 (実績)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2022年度 (予想)	0円	未定	未定	0円	未定	未定

連結業績予想－経常損益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）

